

## 14 ヨハネ 5 章 19-29

- 1、この箇所を自分の言葉で表現してみましょう。どんなことが記されてありますか？
- 2、ここで神様はどのようなお方だと分かりますか？〈父、子、聖霊〉  
(19-22) 父と子の関係はどのようなものでしょう、特徴的な言葉を挙げたり、あなたのことばで表現してみましょう。
- 3、(23、24) 今度は、父なる神と、御子イエスの関係に加え、私たちのことが関係したことが語られています。ここにはどう記されていますか？

※この御言葉から、あなたはどのようなものですか？

- 4、(25-29) は十字架を目前にしたイエス様が、十字架を通して行われることを預言したものと言えます。十字架上で人類の罪の咎を背負って、イエス様が死なれることによって開かれる次のステージにはどのようなものがあるのでしょうか？

※ここには死とよみがえりの直後から行われたことから、最後の審判の時に起こることまでが時間と、時代を超えて記されてあると言えます。ですから、「いつ」にとどまらず、全体に記されてある「慰め」「励まし」「希望」を心に刻んでおきましょう。(決して「セカンドチャンス」を教えるものではありません)

### 参考聖句

マタイ 27 章 50-54 節 〈これはマタイだけが記している記事です〉、I ペテロ 3 章 18-22 節